

令和3年度 生徒会サミットの報告会について

生徒会サミットは区立中学校第2学年の生徒会の代表者が集まり、より良い学校づくりに向けて、主体的に考え、自らの課題解決に向けて議論する場である。各校で実践した生徒会活動の成果を共有するため、「生徒会サミットの報告会」を実施したので報告する。

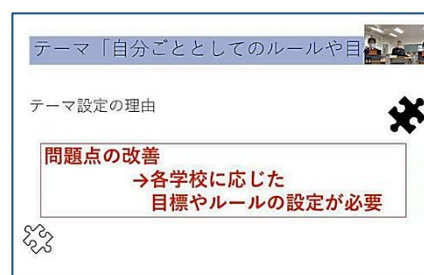
- 1 日時 令和4年2月5日（土）午後2時15分～午後4時
- 2 場所 世田谷区立芦花中学校（1ブロック）、世田谷区立桜木中学校（2ブロック）
世田谷区立駒沢中学校（3ブロック）、世田谷区立尾山台中学校（4ブロック）
世田谷区教育総合センター たいよう（事務局）
※新型コロナウイルス感染症対策のためブロックごとに会場を分けて、ZOOMにより各会場をつなげて実施した。
- 3 参加者数 100名（各中学校生徒会代表生徒 57名、担当教員 43名）
今後、中学生と保護者向けに配信予定

4 発表会概要

(1) テーマ

全体テーマ ～より良い学校づくり～世田谷 A.M.P.M. (As my personal matters)
「より良い学校生活を、自分たちで実現させていくために」

- 1ブロック「学校の一体化」
- 2ブロック「一人一人の個性の尊重」
- 3ブロック「自分ごととしてのルールや目標」
- 4ブロック「自分ごととしての意見」



【生徒作成の報告スライド】

(2) 発表内容

各ブロックでテーマから話し合いを深めた内容をもとに、学校ごとに実践した取組等についての成果と課題を発表した。

(3) 活動内容

- ・11月14日（土）第1回生徒会サミット（船橋希望中学校）
NPO法人カタリバによる大学生のミニ講演会と、生徒会役員の経験等がある区内在住の大学生とのトークセッション
- ・12月～1月 第2・3回生徒会サミット（ブロックごと）
テーマについての話し合い、実践の報告、協議、報告会の準備

5 今年度の実施状況

昨年度はSDGsの視点をもとに交流を図ったが、学校の独自性やブロックでの協議の成果が見えづらい報告会であった。そこで今年度は、「～より良い学校づくり～世田谷A.M.P.M.」を全体テーマに据え、生徒たちが昨今の教育課題に対してどのように考え、どのように課題解決を図るか議論させ、その過程を共有する場とするため、新たに以下の取組を行った。

(1) NPO法人カタリバ等による大学生との交流

生徒会役員の実験がある大学生を招き、東日本大震災を経験した3名の大学生が自身の体験を踏まえたミニ講演会を行った。その後、小グループで大学生と中学生のトークセッションを行った。

(2) 報告会の活性化にむけて

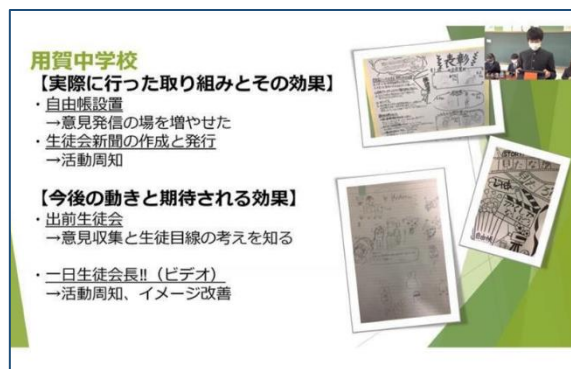
今年度はブロックのメンバーを4グループに分け、各グループ（小グループ）で報告、質疑応答を行うことで、生徒に当事者意識をもたせ、報告会がより主体的になるようにした。

(3) 一人一台のタブレット端末の活用

今年度はTeamsにてブロックごとにチームを作成し、報告会に向けた資料をクラウド上で共有し、いつでも編集できるようにした。そのため他のグループの発表内容を見ることができるとともに、生徒会サミットの実施日以外でも、報告会の準備を進めることができ、限られた時間内に効率よく作業を進めることができた。

6 参加者（生徒会メンバー）の感想（一部抜粋）

- ・今回のテーマとして、『自分ごととして』という言葉がありました。最初の大学生とのお話を含め、自分たちの学校づくりを考えるきっかけになりました。ブロックでの取り組みから、活動がつながっていることに気づくこともあれば、他校の活動からはヒントをたくさん得ることができました。
- ・生徒会の人たちと話し合うことはとても有意義だったと思います。学校のことを考えて活動することは、こんなに楽しいことなんだ！と改めて気づきました。
- ・「少しでも発言しよう」と思い行動できたことが、自分の成長につながりました。今回の生徒会サミットで、他の人の意見や考え、価値観を知り、理解を深めることができました。



【生徒作成の報告スライド】